

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 25 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県稲敷郡阿見町星の里 22 番地
氏 名 雪印メグミルク株式会社
阿見工場長 石曾根 政仁
電話番号 029-829-5231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	雪印メグミルク株式会社阿見工場
事業場の所在地	茨城県稲敷郡阿見町星の里 22 番地
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業、中分類：食料品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 31,665,023 千円
③ 従業員数	473 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	1, 廃棄物の発生 2, 廃棄物置場ステーションに運ぶ 3, 処理先毎に分別し保管 4, 廃棄物処理業者に処理委託 ・動植物性残渣→飼料化又は焼却(熱回収、セメント原料化、路盤材等の利用) ・廃プラスチック類、木くず→固形燃料化、焼却(熱回収、セメント原料化、路盤材等の利用) ・汚泥、ガラス陶磁器くず→焼却(熱回収、セメント原料化)

(日本工業規格 JIS 第 1 号)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境委員会

統括責任者（工場長） - 副統括責任者（副工場長） - 管理責任者（工務課長） - ※1
 ↳事務局

※1 - 委員（環境リーダー）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙Aのとおり		
② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙Aのとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工場内に廃棄物置場を設置し品目及び処分方法毎に分別し保管
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 社員教育等を進め分別を再徹底し、産業廃棄物の排出抑制に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） <div>該当なし</div>		
② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） <div>該当なし</div>		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） <div>該当なし</div>		
② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） <div>該当なし</div>		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【今年度（令和7年度）目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙Bのとおり		

② 計画	【今年度（令和 7 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">別紙 B のとおり</div>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙A

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	廃油	ガラス	木くず	合計
排出量	460.19t	554.88t	156.33t	5.34t	0.78t	0.45t	1,177.96t
①現状	(これまでに実施した取組)						
	・動植物性残渣においては、稼働率を向上し、廃棄物の発生量を低減させる。 ・廃プラスチック類においては、分別を実施し、一部を有価物として売却。						
【今年度(令和7年度)目標】							
産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	廃油	ガラス	木くず	合計
排出量	455.59t	549.33t	154.77t	5.29t	0.77t	0.44t	1,166.18t
②計画	(これまでに実施した取組)						
・動植物性残渣においては、工程ロスの削減を継続していく。 ・引き続き分別を実施し、有価物として処分する。							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度(令和6年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	廃油	ガラス	木くず	合計
	全処理委託量	460.19t	554.88t	156.33t	5.34t	0.78t	0.45t	1,177.96t
	優良認定処理業者への 処理委託量	460.19t	554.88t	156.33t	5.34t	0.78t	0.45t	1,177.96t
	再生利用業者への 処理委託量	460.19t	554.88t	156.33t	5.34t	0.78t	0.45t	1,177.96t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	12.01t	112.79t	1.01t	0.00t	0.00t	125.81t
	(これまでに実施した取組)							
	・動植物性残渣においては、工程ロスの削減をすすめた。							
	②計画	【今年度(令和7年度)目標】						
産業廃棄物の種類		動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	廃油	ガラス	木くず	合計
全処理委託量		455.59t	549.33t	154.77t	5.29t	0.77t	0.44t	1,166.18t
優良認定処理業者への 処理委託量		455.59t	549.33t	154.77t	5.29t	0.77t	0.44t	1,166.18t
再生利用業者への 処理委託量		455.59t	549.33t	154.77t	5.29t	0.77t	0.44t	1,166.18t
認定熱回収業者への 処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0.00t	11.88t	111.66t	1.00t	0.00t	0.00t	124.55t
【今後実施する予定の取組】								
・引き続き動植物性残渣の工程ロスの削減をすすめる。								

